

Cisco 6015/6130/6160/6260 NI-2 DSLAM のための Cisco IOS ソフトウェアのアップグレード手順

目次

[はじめに](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[Cisco IOS ソフトウェア イメージのアップグレード](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

この資料は Cisco NI-2 DSLAM をアップグレードするステップバイステップ手順を紹介しています。TCP/IP 対応ワークステーションに、TFTP サーバまたは Remote Copy Protocol (RCP) サーバアプリケーションをインストールする必要があります。アプリケーションをインストールしたら、次の基本的な設定を行います。はじめに、TFTP クライアントではなく TFTP サーバとして動作するように、TFTP アプリケーションを設定する必要があります。次に、発信ファイルディレクトリを指定する必要があります。これは Cisco IOS[®] ソフトウェア イメージが保存されるディレクトリです。ほとんどの TFTP アプリケーションには、このような設定作業用にセットアップルーチンが用意されています。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

[Cisco IOS ソフトウェア イメージのアップグレード](#)

Cisco IOSソフトウェアイメージをアップグレードするのに次のプロシージャを使用して下さい。

1. 新しい Cisco IOS ソフトウェア イメージを TFTP サーバの送信ディレクトリにインストールします。TFTPサーバはこのディレクトリの DSLAM の Cisco IOSソフトウェアイメージを探します。フラッシュメモリにコピーするイメージがこのディレクトリにあることを確認してください。各イメージのためのメモリ要件はTFTPサーバのアウトバウンド・ディレクトリにまたあります。 **show version** コマンドを使用して、十分なメモリがあることを確認してください。

```
DSLAM#show version
Cisco Internetwork Operating System Software
IOS (tm) NI2 Software (NI2-DSL-M), Version 12.1(5)DA, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc2)
Copyright (c) 1986-2000 by cisco Systems, Inc.
Compiled Thu 07-Dec-00 19:27 by pnicosia
Image text-base: 0x800082C0, data-base: 0x811EA000
ROM: System Bootstrap, Version 12.0(5)DA, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc1)
BOOTFLASH: NI2 Software (NI2-DBOOT-M), Version 12.1(3)DA, EARLY DEPLOYMENT RELEASE SOFTWARE (fc1)
6130A uptime is 1 day, 18 hours, 19 minutes
System returned to ROM by power-on
System restarted at 16:11:23 PST Wed Feb 14 2001
System image file is "flash:ni2-dsl-mz.121-5.DA.bin"
cisco 6130 (NI2) processor with 60416K/5120K bytes of memory.
RC64475 CPU at 100Mhz, Implementation 48, Rev 0.0
Bridging software.
1 Ethernet/IEEE 802.3 interface(s)
4 ATM network interface(s)
522232 bytes of non-volatile configuration memory.
4096K bytes of Boot Flash (Sector size 256K).
16384K bytes of Flash internal SIMM (Sector size 256K).
Configuration register is 0x2102
```

2. DSLAM にコンソール セッションを設定して下さい。これは、直接コンソール接続または仮想 Telnet 接続によって実行できます。直接コンソール接続は Telnet接続がソフトウェアインストールレーションの再度ブートするフェーズの間に失われるので好まれます (ステップを 9) 参照して下さい。コンソール接続は圧延ケーブルによって (黒一色か青いケーブル) なされ、PC の COM ポートに DSLAM のコンソールポートを接続します。
3. PC のハイパーターミナルを起動させ、次の設定を使用して下さい:9600 ビット/秒データ ビット : 80 parity bits1 ストップ ビットフロー制御なし
4. TFTPサーバに DSLAM に IP 接続があることを確認して下さい。TFTPサーバは DSLAM へのネットワーク接続があり、TFTP ソフトウェアアップグレードがターゲットとなっている DSLAM の IP アドレスを ping できる必要があります。これを実現させるために、DSLAM インターフェイスおよび TFTPサーバはどちらか次のものを持たなければなりません:同じ範囲の IP アドレスまたは;デフォルト ゲートウェイの設定確認のため、TFTP サーバの IP アドレスをチェックします。注: TFTPサーバのネットワーク 接続を確認した後、DSLAM で **write memory** コマンドの発行によってメモリへのすべての変更を書いて下さい。

```
DSLAM#write memory
Building configuration...
[OK]
DSLAM#
```

5. ブートフラッシュ画像が ni2-dboot-mz.121-5.da1 または ni2-dboot-mz.121-4.da であることを確認して下さい。そうである場合、ステップ 14 に行ってください。そうでない場合、ブートフラッシュの場所を空けることをステップ 6 に行ってください。

```
DSLAM#dir bootflash:
Directory of bootflash:/
```

```
1  -rw-      3361208   Jan 01 2000 00:05:11  ni2-dboot-mz.121-2.DA
```


3712100 bytes copied in 69.476 secs (53798 bytes/sec)

22. 新しい Cisco IOS ソフトウェア イメージ から それを 起動 させ ます DSLAM を リロード して 下さい。

```
DSLAM#reload
```

23. **show version** コマンド の 発行 によって 新しい Cisco IOS ソフトウェア イメージ から 起動 される DSLAM を 確認 して 下さい。

```
DSLAM#show version
```

show version コマンド から の 出力 には 、アップグレード された Cisco IOS ソフトウェア イメージ の 名前 が 表示 されている はず です。

関連情報

- [スイッチ製品に関するサポート ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)